

デジタルエンジニアリングに関する標準化活動

アンケートへのご協力をお願い

日頃は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

デジタルエンジニアリング分科会は、自動車メーカー13社のエキスパートが各社の知識を持ち寄り、協調領域におけるモビリティ開発のデジタル化検討・ガイドライン発行や最先端技術研究に取り組み、指針を定めることで国際競争力の底上げを図っています。

JAMAのデジタルエンジニアリング活動の普及・展開を図るため、各資料の活用状況を集計・把握しておりますので、お手数ではございますが、アンケートにご協力いただけます様、よろしくお願い申し上げます。

ご協力いただける方は、下記 URL または QR コードよりアンケートフォームへお進みください。

※アンケートの回答は無記名ですので、個人情報が特定されることはありません。

<https://forms.office.com/r/3eKDzwJBcH>



【問い合わせ】

一般社団法人 日本自動車工業会

総合政策委員会 ICT 部会 デジタルエンジニアリング分科会

E-MAIL : ict-digitaleng@mta.jama.or.jp

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名	いすゞ自動車株式会社	記載日	2025年4月21日
-----	------------	-----	------------

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。) ※記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム	二輪/四輪 区分		バージョン			システム構成		データ交換様式		補 足
			現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	NX	四輪	NX2312	未定	未定	NX Mach 3 Industrial Design	Windows 11 64 bit ※Win10から段階的 に切替対応中	NX	STEP IGES	Native NXデータによる交換を基本とし、対応困難な場合にSTEP,IGESも可としている
VIEWER	TcVis	四輪	14.3	未定	未定		Windows 11 64 bit ※Win10から段階的 に切替対応中			

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回数	接続方式	補 足
iDX	JNX, Internet(ssl-vpn)	専用Web方式	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定 (カスタマイズ設定) 問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部 署	補 足
CAD	システム企画部技術情報領域グループ	
VIEWER	システム企画部技術情報領域グループ	
オンライン授受	問合せ: 開発技術企画部設計情報グループ サポート: システム企画部技術情報領域グループ	
Officeソフト	システム企画部技術情報領域グループ	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補 足
MS Office	2016/365	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	☐ 適応無し ☒ 独自仕様で運用 (変更なし) ☐ 独自仕様で運用 (変更あり)	補 足	Check-Mateは自社でカスタマイズしたチェック項目を使用
必要PDQツール	NX標準機能のCheck-Mate		

★★★ 調査へのご協力、有難うございました。 ★★★

適用しているPDQ項目としきい値

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
3.2.1. 曲線	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG	●		
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-NT	●		
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI	●	○	0.01mm
	3.2.1.5.	近接した曲線ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS	●		
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM	●		
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
3.2.2. 曲面	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT	●	○	0.5deg
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI	●	○	0.01mm
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA	●		
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC	●		
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS	●		
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM	●		
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のねじれ	G-SU-FO	●		
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
	3.2.2.19.	複数のフェースから使用される曲面	G-SU-MU			
3.2.3. エッジ	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI	●	○	0.01mm
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
3.2.4. エッジループ	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG	●	○	0.01mm
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS	●		
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA		○	0.5deg
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT			
3.2.5. フェース	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG	●		
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI	●	○	0.01mm
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA	●		
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS		○	0.01mm
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM	●		
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
3.2.6. シェル	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG	●	○	0.01mm
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT		○	0.5deg
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェルの自己干渉	G-SH-IS		○	0.01mm
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
	3.2.6.6.	フェース方向とシェル方向の不整合	G-SH-IT			
	3.2.6.7.	未使用のエッジ	G-SH-FR			
	3.2.6.8.	過度な共有エッジ	G-SH-NM			
	3.2.6.9.	過度な共有頂点	G-SH-OU			
3.2.7. ソリッド	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI	●	○	0.01mm
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS		○	
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM		○	
	3.2.7.4.	複数のボリュームからなるソリッド	G-SO-MU			
	3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO			

会社名: いすゞ自動車株式会社

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
4.2.1. CADモデル	4.2.1.1.	会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV	●	◎
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE		
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP	●	
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC	●	
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN	●	◎
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN	●	
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		○
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC	●	
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		◎
	4.2.1.13.	密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-UP	●	
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-EP		
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		○
4.2.2. グループ/レイヤ	4.2.2.1.	グループ使用の有無	O-GL-GU		
	4.2.2.2.	多数のグループ数	O-GL-NG		
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録	O-GL-JG		
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		◎
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		◎
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無	O-GL-LY		
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数	O-GL-NL		
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU	●	○
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		◎
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		○
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA	●	◎
4.2.3. 座標系	4.2.3.1.	局所座標系の有無	O-CS-LS		
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合	O-CS-NR		○
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO	●	○
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU	●	○
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS	●	
	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
4.2.4. アセンブリ	4.2.4.1.	アセンブリ構造の有無	O-AR-AR	●	◎
	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
4.2.5. ソリッド	4.2.5.1.	モデル履歴使用の有無	O-SO-HN	●	◎
	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの未実施	O-SO-HU	●	
	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
4.2.6. フォーム フィーチャ	4.2.6.1.	未解決 (Unresolved) フォームフィーチャの使用	O-FE-UF	●	○
	4.2.6.2.	非活動 (inactive) フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		○
4.2.7. 要素	4.2.7.1.	会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE		
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		○
	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
4.2.8. 表示	4.2.8.1.	会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		○
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		
	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
4.2.9. スケッチ	4.2.9.1.	多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
5.2.1. 標準ライブラリ	5.2.1.1.	微小な図面要素	D-GE-TI		○
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		○
	5.2.1.8.	2D、3D連携の有無	D-OR-DL		○
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PF		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		
	5.2.1.12.	ブランクビューの存在	D-OR-EV		
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
	5.2.1.17.	図面寸法法非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		

その他の項目	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

■この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストです
使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
同一尺度の場合は「◎」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「○」
にて記入してください。
■この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
「その他の項目」に記載をお願いします。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名	カワサキモータース	記載日	2025年4月2日
-----	-----------	-----	-----------

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。) ※記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム		二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補 足
			現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	CATIA	二輪と四輪	R33SP3HF22	R35	Jun-26	MD2	Windows11 23H2	CATPart CATProduct CATDrawing	STEP JGES dxf TIFF	
VIEWER	Acrobat Reader	二輪と四輪	2020							
	Web3D Player	二輪と四輪	8.3							

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補 足
K-Lab Net	JNX	インターネットVPN + 専用Web	事前に申請の必要有
デジ急便	InterNet	インターネット + 専用Web	事前に申請の必要有

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

CD-Rでの授受

[4] 環境設定 (カスタマイズ設定) 問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部 署	補 足
CAD	技術管理総括部 技術管理部 開発推進課 オペレーション企画総括部 情報システム部	
VIEWER	同上	
オンライン授受	同上	
Officeソフト	同上	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補 足
MS Office	MS365	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	☐ 適応無し ☒ 独自仕様で運用 (変更なし) ☐ 独自仕様で運用 (変更あり)	補 足	
必要PDQツール	3D x SUITE、Q-Checker		

★★★ 調査へのご協力、有難うございました。 ★★★

適用しているPDQ項目としきい値

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
3.2.1. 曲線	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG	●		
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-NT	●		
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI	●		
	3.2.1.5.	近接した曲線ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS	●		
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM	●		
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
3.2.2. 曲面	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT	●		
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI	●		
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA	●		
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC	●		
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS	●		
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM	●		
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のねじれ	G-SU-FO	●		
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
	3.2.2.19.	複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU			
3.2.3. エッジ	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI	●		
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
3.2.4. エッジループ	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG	●		
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS	●		
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT			
3.2.5. フェース	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG	●		
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI	●		
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA	●		
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS			
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM	●		
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
3.2.6. シェル	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG	●		
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT			
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェルの自己干渉	G-SH-IS			
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
	3.2.6.6.	フェース方向とシェル方向の不整合	G-SH-IT			
	3.2.6.7.	未使用のエッジ	G-SH-FR			
	3.2.6.8.	過度な共有エッジ	G-SH-NM			
	3.2.6.9.	過度な共有頂点	G-SH-OU			
3.2.7. ソリッド	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI	●		
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS			
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM			
	3.2.7.4.	複数のボリュームからなるソリッド	G-SO-MU			
	3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO			

会社名:カワサキモータース株式会社

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
4.2.1. CADモデル	4.2.1.1.	会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV	●	
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE		
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP	●	
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		○
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC	●	
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN	●	○
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN	●	○
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC	●	
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		
	4.2.1.13.	密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-UP	●	
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-EP		
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		○
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		○
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		
4.2.2. グループ/レイヤ	4.2.2.1.	グループ使用の有無	O-GL-GU		
	4.2.2.2.	多数のグループ数	O-GL-NG		
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録	O-GL-IG		
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無	O-GL-LY		
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数	O-GL-NL		
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU	●	
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA	●	
4.2.3. 座標系	4.2.3.1.	局所座標系の有無	O-CS-LS		
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合	O-CS-NR		
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO	●	
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU	●	
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS	●	
	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
4.2.4. アセンブリ	4.2.4.1.	アセンブリ構造の有無	O-AR-AR	●	
	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
4.2.5. ソリッド	4.2.5.1.	モデル履歴使用の有無	O-SO-HN	●	
	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの未実施	O-SO-HU	●	○
	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
4.2.6. フォームフィーチャ	4.2.6.1.	未解決 (Unresolved) フォームフィーチャの使用	O-FE-UF	●	
	4.2.6.2.	非活動 (inactive) フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		
4.2.7. 要素	4.2.7.1.	会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE		
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		
	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
4.2.8. 表示	4.2.8.1.	会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		○
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		
	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
4.2.9. スケッチ	4.2.9.1.	多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
5.2.1. ヒロインング	5.2.1.1.	微小な図面要素	D-GE-TI		
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		○
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		○
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		○
	5.2.1.8.	2D、3D連携の有無	D-OR-DL		○
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PF		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		○
	5.2.1.12.	ブランクビューの存在	D-OR-EV		
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
	5.2.1.17.	図面寸法の非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		

その他の項目	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

■この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストです
使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
同一尺度の場合は「◎」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「○」
にて記入してください。
■この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
「その他の項目」に記載をお願いします。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定：2021/9/13

会社名	スズキ株式会社	記載日	2025年4月1日
-----	---------	-----	-----------

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。) ※記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム		二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補 足
			現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	NX	二輪と四輪	NX2306	未定	未定	NX Mach3	Windows10 64bit 22H2	part	IGES JT V9.5(b-rep有/ 無) STEP A214	
VIEWER	TcVis	二輪と四輪	14.2	未定	未定					
	JT2GO	二輪と四輪	14.3	未定	未定					

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補 足
STAGE (弊社内製ソフト)	JNX, Internet	JNX, Internet-VPN	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定 (カスタマイズ設定) 問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部 署	補 足
CAD	ITシステム部 技術システム課	
VIEWER	ITシステム部 技術システム課	
オンライン授受	ITシステム部 技術システム課	
Officeソフト	IT基盤部IT管理業務改善課	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補 足
MS Office	365	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	☐ 適応無し ☒ 独自仕様で運用 (変更なし) ☐ 独自仕様で運用 (変更あり)	補 足	
必要PDQツール			

★★★ 調査へのご協力、有難うございました。 ★★★

適用しているPDQ項目としきい値

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
曲線	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG			
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-NT	●		
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI	●		
	3.2.1.5.	近接した曲線ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS	●		
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM	●		
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
曲面	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT	●		
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI	●		
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA	●		
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC	●		
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS	●		
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM	●		
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のねじれ	G-SU-FO	●		
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
	3.2.2.19.	複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU			
エッジ	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI	●		
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
エッジ ループ	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG	●		
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS	●		
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT			
フェース	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG	●		
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI	●		
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA	●		
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS			
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM	●		
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
シェル	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG	●		
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT			
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェルの自己干渉	G-SH-IS			
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
	3.2.6.6.	フェース方向とシェル方向の不整合	G-SH-IT			
	3.2.6.7.	未使用のエッジ	G-SH-FR			
	3.2.6.8.	過度な共有エッジ	G-SH-NM			
	3.2.6.9.	過度な共有頂点	G-SH-OU			
ソリッド	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI	●		
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS			
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM			
	3.2.7.4.	複数のボリュームからなるソリッド	G-SO-MU			
	3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO			

会社名:スズキ株式会社

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
CADモデル	4.2.1.1.	会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV	●	
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE		
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP	●	
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC	●	◎
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN	●	○
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN	●	
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		◎
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC	●	○
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		◎
	4.2.1.13.	密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-UP	●	
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-EP		
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		◎
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		◎
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		◎
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		
グループ/レイヤ	4.2.2.1.	グループ使用の有無	O-GL-GU		
	4.2.2.2.	多数のグループ数	O-GL-NG		
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録	O-GL-IG		
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無	O-GL-LY		◎
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数	O-GL-NL		
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU	●	◎
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		◎
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		○
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA	●	◎
座標系	4.2.3.1.	局所座標系の有無	O-CS-LS		
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合	O-CS-NR		
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO	●	
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU	●	◎
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS	●	
	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
アセンブリ	4.2.4.1.	アセンブリ構造の有無	O-AR-AR	●	
	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
ソリッド	4.2.5.1.	モデル履歴使用の有無	O-SO-HN	●	
	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの実実施	O-SO-HU	●	
	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
フォーム フィーチャ	4.2.6.1.	未解決 (Unresolved) フォームフィーチャの使用	O-FE-UF	●	
	4.2.6.2.	非活動 (inactive) フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		
要素	4.2.7.1.	会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE		
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		
	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
	4.2.8.1.	会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
表示	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		◎
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		◎
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		
	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
スケッチ	4.2.9.1.	多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
ドローイング	5.2.1.1.	微小な図面要素	D-GE-TI		
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		◎
	5.2.1.8.	2D、3D連携の有無	D-OR-DL		
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		◎
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PF		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		
	5.2.1.12.	ブランクビューの存在	D-OR-EV		
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
	5.2.1.17.	図面寸法の非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		

その他の項目	
1	未更新または抑制されたフィーチャが無い？
2	図面サイズが適正か？ (A0～A4、ロールサイズ5000mmまで)
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

■この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストです
使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
同一尺度の場合は「◎」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「○」
にて記入してください。
■この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
「その他の項目」に記載をお願いします。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0

改定：2021/9/13

会社名 株式会社 SUBARU

記載日 2025年4月22日

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

※記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム		二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補 足
			現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	CATIA	四輪	V5R31SP5			HD2	Windows 10	CATPart CATProduct CATDrawing	IGES STEP DXF	
VIEWER	XVL	四輪	10 (U-XVL)				Windows 10	xv0 xv2		

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補 足
SNET-SV	JNX,ISDN	インターネットVPN	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定 (カスタマイズ設定) 問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部 署	補 足
CAD	エンジニアリング情報管理部 エンジニアリングIT企画第一課	
VIEWER	エンジニアリング情報管理部 エンジニアリングIT企画第一課	
オンライン授受	エンジニアリング情報管理部 エンジニアリングIT企画第三課	
Officeソフト	IT戦略本部 ITインフラ部	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補 足
Microsoft Office	2208	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	● 適応無し ○ 独自仕様で運用 (変更なし) 独自仕様で運用 (変更あり)	補 足	
必要PDQツール			

★★★ 調査へのご協力、有難うございました。 ★★★

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定：2021/9/13

会社名	ダイハツ工業	記載日	2025年5月6日
-----	--------	-----	-----------

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。) ※記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム		二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補 足
			現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	CATIA V5	四輪	V5-6R2021 SP5 HF91	未定	未定		Windwos 10	CATPart CATProduct CATDrawing	IGES、Step	CAD端末でのWindows11は'25/6から順次展開予定
	Creo	四輪	10.0.6.0	未定	未定		Windows10	Creo	IGES、Step	CAD端末でのWindows11は'25/6から順次展開予定
VIEWER	XVL Player	四輪	23.0b	未定	未定		Windows 10			

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補 足
トヨタグループシステム	専用回線		
De - Express	専用回線		

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定 (カスタマイズ設定) 問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部 署	補 足
CAD	DX推進室	
VIEWER	DX推進室	
オンライン授受	DX推進室	
Officeソフト	IT室	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補 足
Office	2016	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	● 適応無し ○ 独自仕様で運用 (変更なし) 独自仕様で運用 (変更あり)	補 足	
必要PDQツール			

★★★ 調査へのご協力、有難うございました。 ★★★

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定：2021/9/13

会社名	トヨタ自動車株式会社	記載日	2025年4月22日
-----	------------	-----	------------

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。) ※記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム		二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補 足
			現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	CATIA V5	四輪	V5 R31 SP5	未定	未定		Windwos 10,11	CATPart CATProduct CATDrawing		
	Creo	四輪	10.0	未定	未定	Creo Design Advance	Windows10,11	ASM PRT DRW		
VIEWER	XVL Studio	四輪	22.1a	23.1a	25年10月	XVL Studio Pro	Windows 10,11	xv2	Step AP214(イン ポートのみ)	
	CreoView	四輪	9.1	11.1	27年1月		Windows 10,11			

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補 足
内製授受システム	D.e-NET,JNX,	InternetVPN,Internet (ISDN、専用線)	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定 (カスタマイズ設定) 問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部 署	補 足
CAD	開発・製造IT推進部	
VIEWER	開発・製造IT推進部	
オンライン授受	開発・製造IT推進部	
Officeソフト		

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補 足
Office	365	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	● 適応無し ○ 独自仕様で運用 (変更なし) 独自仕様で運用 (変更あり)	補 足	
必要PDQツール			

★★★ 調査へのご協力、有難うございました。 ★★★

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名	日産自動車株式会社	記載日	2025年4月18日
-----	-----------	-----	------------

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。) ※記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム		二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補 足
			現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	NX		NX2306			NSTK (Nissan Supplier Toolkit)	Windows10	Briefcase (TCXML & NX native)		
VIEWER										

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補 足
TCP3	JNX or Internet	JNX or Internet VPN + 専用Web	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定 (カスタマイズ設定) 問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部 署	補 足
CAD	NSTK代理店	
VIEWER		
オンライン授受	日産ヘルプデスクセンター / Global help desk	
Officeソフト		

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補 足
MS Office		

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	○ 適応無し 独自仕様で運用 (変更なし) 独自仕様で運用 (変更あり)	補 足	
必要PDQツール			

★★★ 調査へのご協力、有難うございました。 ★★★

適用しているPDQ項目としきい値

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
曲線	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG			
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-NT	●	○	θ<3°
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI	●	◎	L=0.005
	3.2.1.5.	近接した曲線/ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS	●	◎	
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM	●		
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
曲面	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT	●	○	θ<3°
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI	●		
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA	●	○	L=0.005
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC	●		
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面/ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS	●	◎	
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM	●		
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
エッジ	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のぬじれ	G-SU-FO	●		
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
	3.2.2.19.	複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU			
	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI	●		
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
エッジ グループ	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG	●		
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS	●	◎	
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT		◎	
フェース	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG	●	◎	d=0.01
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI	●		
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA	●	◎	L>0.01
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS			
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM	●	◎	Warning(注)
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
シェル	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG	●	◎	d=0.01
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT			
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェルの自己干渉	G-SH-IS			
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
	3.2.6.6.	フェース方向とシェル方向の不整合	G-SH-IT			
	3.2.6.7.	未使用のエッジ	G-SH-FR			
	3.2.6.8.	過度な共有エッジ	G-SH-NM		◎	
	3.2.6.9.	過度な共有頂点	G-SH-OU			
ソリッド	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI	●		
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS			
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM			
	3.2.7.4.	複数のボリュームからなるソリッド	G-SO-MU			
	3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO			

会社名:日産自動車(株)

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
CADモデル	4.2.1.1.	会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV	●	
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE		
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP	●	
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC	●	
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN	●	
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN	●	
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC	●	
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		
	4.2.1.13.	密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-UP	●	
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-EP		
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		
グループ/レイヤ	4.2.2.1.	グループ使用の有無	O-GL-GU		
	4.2.2.2.	多数のグループ数	O-GL-NG		
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録	O-GL-IG		
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無	O-GL-LY		
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数	O-GL-NL		
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU	●	
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
座標系	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA	●	
	4.2.3.1.	局所座標系の有無	O-CS-LS		
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合	O-CS-NR		
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO	●	
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU	●	
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS	●	
アセンブリ	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
	4.2.4.1.	アセンブリ構造の有無	O-AR-AR	●	
ソリッド	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
	4.2.5.1.	モデル履歴使用の有無	O-SO-HN	●	
フォーム フィーチャ	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの実実施	O-SO-HU	●	
	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
	4.2.6.1.	未解決 (Unresolved) フォームフィーチャの使用	O-FE-UF	●	
要素	4.2.6.2.	非活動 (inactive) フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		
	4.2.7.1.	会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE		
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		
表示	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
	4.2.8.1.	会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		
	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
スケッチ	4.2.9.1.	多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
ドローイング	5.2.1.1.	微小な図面要素	D-GE-TI		
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		
	5.2.1.8.	2D、3D連携の有無	D-OR-DL		
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PF		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		
	5.2.1.12.	ブランクビューの存在	D-OR-EV		
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
	5.2.1.17.	図面寸法の非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		

その他の項目	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

■この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストです
使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
同一尺度の場合は「◎」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「○」
にて記入してください。
■この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
「その他の項目」に記載をお願いします。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定：2021/9/13

会社名	日野自動車株式会社	記載日	2025年4月14日
-----	-----------	-----	------------

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。) ※記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム		二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補 足
			現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	CATIA	四輪	V5 R31 (SP5)	未定	未定	-	Windows 10 EnterPrise 64 bit 21H2	CATPart CATProduct CATDrawing	STEP	・正式なデータ交換様式はNativeだが、CATIAを所持していない 仕入先の場合、中間ファイルでも対応している ・Windows11化は25年10月までに対応実施予定。
	Creo	四輪	10.0.6	未定	未定	-	同上	prt asm drw	STEP IGES	・正式なデータ交換様式はNativeだが、Creoを所持していない 仕入先の場合、中間ファイルでも対応している ・Windows11化は25年10月までに対応実施予定。
VIEWER	XVL	四輪	Pro/Premium 21.0a	Pro/Premium 22.1a	2025年10月頃		Windows 10 EnterPrise 64 bit 21H2			ファイルのフォーマットを記載 DR、帳票作成、3D組図作成等で利用
	JT	四輪	13	未定	2025年8月頃		同上			ファイルのフォーマットを記載 DRで利用

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補 足
グローバル授受システム	イントラSSL	専用Web	
D.e.Express	イントラSSL	専用Web	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

CD-R、DVD-R 対応OS：Windows

[4] 環境設定 (カスタマイズ設定) 問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部 署	補 足
CAD	日野自動車IT企画部	
VIEWER	日野自動車IT企画部	
オンライン授受	日野自動車IT企画部	
Officeソフト	日野自動車IT企画部	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補 足
MS Office	2016	M365への移行準備中

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	● 適応無し ○ 独自仕様で運用 (変更なし) 独自仕様で運用 (変更あり)	補 足	
必要PDQツール			

★★★ 調査へのご協力、有難うございました。 ★★★

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名	本田技研工業
-----	--------

記載日	2025年4月23日
-----	------------

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

※記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム		二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補 足
			現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	CATIA	二輪と四輪	CATIA V5-6R2022 SP2 HF23	未定	未定	HD2	Windows 11 Enterprise 64bit / 23H2	CATPart CATProduct CATDrawing	-	OS:2025年5月6日にWindows11 23H2へ切り替え予定
	CATIA	四輪	3DEX R2022xFD03	3DEX R2026xFD03	2026年下期	MES	同上	HPDF (3D XML,XML,TIFF,PDF) 3D XML	JT,STEPX	2025年5月R2022xFD13にUpgradeを予定していたが中止 OS:2025年5月6日にWindows11 23H2へ切り替え予定
VIEWER	Dawin3D	四輪	Dawrin3D 4.9.1	-	-	In house application	Windows 11 Enterprise 64bit / 23H2	HPDF (3D XML,JT,STPX,XML,TIFF, PDF)	-	-
	CATIA V6(DRN)	四輪	・3DEX R2022xFD03(DRN) ・3DEX R2025X(DRN)	・3DEX R2026xFD03(DRN) ・DS Cloud(最新版)		DRN	同上	HPDF (3D XML,XML,TIFF,PDF)		
	JT2GO	二輪と四輪	JT2Go 13.2.2	必要に応じてバージョンアップ	-		同上	JT	-	-

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補 足
社内システム (GSN)	公衆回線	インターネット	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

無し

[4] 環境設定 (カスタマイズ設定) 問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部 署	補 足
CAD	〒321-3393 栃木県芳賀郡芳賀町下高根沢4630 本田技研工業株式会社 デジタル統括部 ECMシステム部 エンジニアリングシステム2課 玉村/昆野	
VIEWER	同上	
オンライン授受	同上	
Officeソフト	同上	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補 足
MS Office	Microsoft 365 Apps for enterprise 64bit	

[6] PDQチェックの対応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

対応状況	○ 対応無し ● 独自仕様で運用 (変更なし) 独自仕様で運用 (変更あり)	補 足	
必要PDQツール			

★★★ 調査へのご協力、有難うございました。 ★★★

適用しているPDQ項目としきい値

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
曲線	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG			
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-NT	●		
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI	●		
	3.2.1.5.	近接した曲線/ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS	●		
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM	●		
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
曲面	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT	●		
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI	●		
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA	●		
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC	●		
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面/ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS	●		
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM	●		
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のねじれ	G-SU-FO	●		
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
	3.2.2.19.	複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU			
エッジ	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI	●		
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
エッジ ループ	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG	●		
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS	●		
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT			
フェース	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG	●		
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI	●		
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA	●		
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS			
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM	●		
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
シェル	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG	●	○	0.005
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT		○	0.5
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェルの自己干渉	G-SH-IS			
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
	3.2.6.6.	フェース方向とシェル方向の不整合	G-SH-IT			
	3.2.6.7.	未使用のエッジ	G-SH-FR			
	3.2.6.8.	過度な共有エッジ	G-SH-NM			
	3.2.6.9.	過度な共有頂点	G-SH-OU			
ソリッド	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI	●		
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS			
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM			
	3.2.7.4.	複数のボリュームからなるソリッド	G-SO-MU			
	3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO			

会社名: 本田技研工業株式会社

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
CADモデル	4.2.1.1.	会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV	●	
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE		
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP	●	
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC	●	
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN	●	
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN	●	
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC	●	
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		
	4.2.1.13.	密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-UP	●	
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-EP		
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		
グループ/レイヤ	4.2.2.1.	グループ使用の有無	O-GL-GU		
	4.2.2.2.	多数のグループ数	O-GL-NG		
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録	O-GL-IG		
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無	O-GL-LY		
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数	O-GL-NL		
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU	●	
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA	●	
座標系	4.2.3.1.	局所座標系の有無	O-CS-LS		
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合	O-CS-NR		
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO	●	
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU	●	
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS	●	
	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
アセンブリ	4.2.4.1.	アセンブリ構造の有無	O-AR-AR	●	
	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
ソリッド	4.2.5.1.	モデル履歴使用の有無	O-SO-HN	●	
	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの実実施	O-SO-HU	●	
	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
フォーム フィーチャ	4.2.6.1.	未解決 (Unresolved) フォームフィーチャの使用	O-FE-UF	●	
	4.2.6.2.	非活動 (inactive) フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		
要素	4.2.7.1.	会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE		
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		
	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
表示	4.2.8.1.	会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		
	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
スケッチ	4.2.9.1.	多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
ドローイング	5.2.1.1.	微小な図面要素	D-GE-TI		
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		
	5.2.1.8.	2D、3D連携の有無	D-OR-DL		
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PF		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		
	5.2.1.12.	ブランクビューの存在	D-OR-EV		
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
	5.2.1.17.	図面寸法の非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		

その他の項目	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

■この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストです
 使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
 同一尺度の場合は「○」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「○」
 にて記入してください。
 ■この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
 「その他の項目」に記載をお願いします。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定：2025/4/2

会社名	マツダ株式会社	記載日	2025年4月1日
-----	---------	-----	-----------

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。) ※記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム		二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補 足
			現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	NX	四輪	2015	2412	'25/8	標準NX、 マツダNXサプライヤ バンドル	現行:Windows10 Ent 64bit ⇒Windows11 Ent 64bit移行予定	PART	JT ver9.5	JTは提供のみ
VIEWER	TcVis	四輪	11.5 13.3	14.3	'25/6					

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補 足
マツダFPTサーバ	JNX	専用線、インターネットVPN(JNX-LA)	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定 (カスタマイズ設定) 問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部 署	補 足
CAD	マツダ MDI&IT本部 エンジニアリングシステム部	
VIEWER	マツダ MDI&IT本部 エンジニアリングシステム部	
オンライン授受	マツダ 車両開発本部 車両開発推進部 出図管理グループ	
Officeソフト	マツダ MDI&IT本部 インフラシステム部	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補 足
Microsodt M365	M365最新版	半年ごとにアップデート追従

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	☐ 適応無し ☒ 独自仕様で運用 (変更なし) ☐ 独自仕様で運用 (変更あり)	補 足	
必要PDQツール			

★★★ 調査へのご協力、有難うございました。 ★★★

適用しているPDQ項目としきい値

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
曲線	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG			
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-NT	●		
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI	●		
	3.2.1.5.	近接した曲線ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS	●		
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM	●		
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
曲面	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT	●		
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI	●		
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA	●		
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC	●		
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS	●		
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM	●		
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のねじれ	G-SU-FO	●		
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
	3.2.2.19.	複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU			
エッジ	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI	●		
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
エッジ ループ	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG	●		
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS	●		
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT			
フェース	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG	●		
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI	●		
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA	●		
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS			
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM	●		
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
シェル	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG	●		
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT			
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェルの自己干渉	G-SH-IS			
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
	3.2.6.6.	フェース方向とシェル方向の不整合	G-SH-IT			
	3.2.6.7.	未使用のエッジ	G-SH-FR			
	3.2.6.8.	過度な共有エッジ	G-SH-NM			
	3.2.6.9.	過度な共有頂点	G-SH-OU			
ソリッド	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI	●		
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS			
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM			
	3.2.7.4.	複数のボリュームからなるソリッド	G-SO-MU			
	3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO			

会社名:

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
CADモデル	4.2.1.1.	会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV	●	◎
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE		
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP	●	◎
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC	●	◎
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN	●	
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN	●	◎
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC	●	
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		
	4.2.1.13.	密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-UP	●	
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-EP		
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素			
グループ/レイヤ	4.2.2.1.	グループ使用の有無			
	4.2.2.2.	多数のグループ数			
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録			
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ			
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名			
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無			
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数			
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ			
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定			
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名			
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無			
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在			
	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ			
座標系	4.2.3.1.	局所座標系の有無			
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合			
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き			
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名			
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU	●	◎
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS	●	
	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
アセンブリ	4.2.4.1.	アセンブリ構造の有無	O-AR-AR	●	
	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
ソリッド	4.2.5.1.	モデル履歴使用の有無	O-SO-HN	●	
	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの未実施	O-SO-HU	●	
	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
フォーム フィーチャ	4.2.6.1.	未解決 (Unresolved) フォームフィーチャの使用	O-FE-UF	●	
	4.2.6.2.	非活動 (inactive) フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		
要素	4.2.7.1.	会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE		
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		
	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
	4.2.8.1.	会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
表示	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		
	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
スケッチ	4.2.9.1.	多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
ローインダ	5.2.1.1.	微小な図面要素	D-GE-TI		
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		
	5.2.1.8.	2D、3D連携の有無	D-OR-DL		
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PF		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		
	5.2.1.12.	ブランクビューの存在	D-OR-EV		
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
	5.2.1.17.	図面寸法の非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		

2022年調査以降、「適応無」で誤回答していました。
大変申し訳ありません。
2021時点から変更はありません。

その他の項目

7	
8	
9	
10	

■この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストです
使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
同一尺度の場合は「◎」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「○」
にて記入してください。
■この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
「その他の項目」に記載をお願いします。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名	三菱自動車工業株式会社	記載日	2025年4月4日
-----	-------------	-----	-----------

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。) ※記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム		二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補 足
			現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	CATIA	四輪	V5-6R2021 SP3 HF52	V5-6R2024 SP3	2025/8/19	HD2	次期Ver. Window 11 Enterprise 23H2	CATProduct CATPart	STEP AP214 IGES	
VIEWER	Space Vertex	四輪	Ver.3.7	Ver.3.8	2025/8/19	—	次期Ver. Window 11 Enterprise 23H2			サプライヤ向けにViewerデータは提供していない

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補 足
三菱自動車専用Webシステム (M-GLIDE2019)	インターネット	インターネット VPN + 専用Web	M-GLID2019利用は、弊社のユーザ登録が必要です

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

DVD-R, CD-R

[4] 環境設定 (カスタマイズ設定) 問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部 署	補 足
CAD	開発管理部 SSD(Supplier Support Desk)	e-mail : helpdesk.qed@mitsubishi-motors.com TEL : 0564-32-8450
VIEWER	同上	同上
オンライン授受	同上	同上
Officeソフト	同上	同上

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補 足
MS Office	Microsoft 365 Apps for enterprise 64bit バージョン2412	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	☐ 適応無し ☒ 独自仕様で運用 (変更なし) ☐ 独自仕様で運用 (変更あり)	補 足	内製PDQツールを使用 (社内のみ)
必要PDQツール			

★★★ 調査へのご協力、有難うございました。 ★★★

適用しているPDQ項目としきい値

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
曲線	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG			
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-NT	●		
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI	●		
	3.2.1.5.	近接した曲線ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS	●		
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM	●		
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
曲面	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT	●		
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI	●		
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA	●		
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC	●		
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS	●		
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM	●		
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のねじれ	G-SU-FO	●		
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
	3.2.2.19.	複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU			
エッジ	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI	●		
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
エッジ ループ	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG	●		
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS	●		
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT			
フェース	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG	●		
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI	●		
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA	●		
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS			
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM	●		
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
シェル	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG	●		
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT			
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェルの自己干渉	G-SH-IS			
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
	3.2.6.6.	フェース方向とシェル方向の不整合	G-SH-IT			
	3.2.6.7.	未使用のエッジ	G-SH-FR			
	3.2.6.8.	過度な共有エッジ	G-SH-NM			
	3.2.6.9.	過度な共有頂点	G-SH-OU			
ソリッド	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI	●		
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS			
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM			
	3.2.7.4.	複数のボリュームからなるソリッド	G-SO-MU			
	3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO			

会社名:三菱自動車工業株式会社

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
CADモデル	4.2.1.	4.2.1.1. 会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV	●	◎
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE		
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP	●	
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC	●	
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN		
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN	●	
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC	●	
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		
	4.2.1.13.	密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-UP	●	◎
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-EP		◎
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		
グループ/レイヤ	4.2.2.	4.2.2.1. グループ使用の有無	O-GL-GU		
	4.2.2.2.	多数のグループ数	O-GL-NG		
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録	O-GL-IG		
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無	O-GL-LY		
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数	O-GL-NL		
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU	●	
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA	●	
座標系	4.2.3.	4.2.3.1. 局所座標系の有無	O-CS-LS		
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合	O-CS-NR		
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO	●	◎
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU	●	
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS	●	
	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
アセンブリ	4.2.4.	4.2.4.1. アセンブリ構造の有無	O-AR-AR	●	
	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
ソリッド	4.2.5.	4.2.5.1. モデル履歴使用の有無	O-SO-HN	●	
	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの未実施	O-SO-HU	●	◎
	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		
フォーム フィーチャ	4.2.6.	4.2.6.1. 未解決 (Unresolved) フォームフィーチャの使用	O-FE-UF	●	
	4.2.6.2.	非活動 (inactive) フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		
要素	4.2.7.	4.2.7.1. 会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE		
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		◎
	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		
表示	4.2.8.	4.2.8.1. 会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		◎
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		
	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
	4.2.9.	4.2.9.1. 多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
スケッチ	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリー	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
フローティング	5.2.1.	5.2.1.1. 微小な図面要素	D-GE-TI		
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		
	5.2.1.8.	2D、3D連携の有無	D-OR-DL		
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PF		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		
	5.2.1.12.	ブランクビューの存在	D-OR-EV		◎
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		◎
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		
	5.2.1.17.	図面寸法の非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		

その他の項目	
1	Product/Part Update
2	Current Work Object
3	Empty Sheets
4	Non-Allowed Sheet Size
5	Sheet Scaling
6	Empty Detail Sheets
7	Drafting Standard Name
8	Permitted Element Types in NOPICK
9	Background Sheet
10	

■この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストです
使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
同一尺度の場合は「◎」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「○」
にて記入してください。
■この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
「その他の項目」に記載をお願いします。

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定：2021/9/13

会社名	ヤマハ発動機株式会社	記載日	2025年4月18日
-----	------------	-----	------------

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。) ※記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム		二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補 足
			現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	NX	二輪	2212				Windows11		IGES DXF STEP CFIO Parasolid	
	ESPRi-II	二輪	V3.6				Windows11	ESPRi-II	IGES DXF STEP CFIO Parasolid	
VIEWER	XVL	二輪	19.0a				Windows10			

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補 足
FTP	SecureIP		
OneDrive	Internet		

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定 (カスタマイズ設定) 問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部 署	補 足
CAD	ヤマハモーターソリューション ES運用グループ 0538-32-3481	
VIEWER	ヤマハモーターソリューション ES運用グループ 0538-32-3481	
オンライン授受	ヤマハモーターソリューション ES運用グループ 0538-32-3481	
Officeソフト		

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補 足

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	● 適応無し ○ 独自仕様で運用 (変更なし) 独自仕様で運用 (変更あり)	補 足	
必要PDQツール			

★★★ 調査へのご協力、有難うございました。 ★★★

データ交換運用関連 サプライヤ提供情報

フォーマット V2.0 改定: 2021/9/13

会社名 UDトラックス株式会社

記載日 2025年4月24日

[1] 運用システム データ交換様式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

※記載にあたっては、各項目のコメントも参考にして下さい。

システム		二輪/四輪 区分	バージョン			システム構成		データ交換様式		補 足
			現行Ver	次期Ver.	切替予定時期	標準パッケージ	OS	Native	汎用	
CAD	Creo		8.0.1	10.0.6	2025年7月頃		Windows11	prt asm drw	STEP	
	CATIA		V5R27	計画なし			Windows11	CATPart CATProduct CATDrawing	STEP	
VIEWER	Creo View		8.0.0	10.0.0	2025年7月頃		Windows11			

[2] オンライン授受方式 (各項目の追加情報は、「補足」に記載して下さい。行が足りない場合は追加をお願いします。)

システム名称	利用回線	接続方式	補 足
弊社サプライヤポータル	インターネット	インターネット	

[3] オフライン授受方式 (オフラインでの運用が可能な場合は記載して下さい。)

--

[4] 環境設定 (カスタマイズ設定) 問い合わせ先 (各システムのサポート先や問合せ先を記載下さい。)

システム	部 署	補 足
CAD	Digital Solutions & IT	
VIEWER	同上	
オンライン授受	同上	
Officeソフト	同上	

[5] OfficeソフトのVer (取引先とやり取りする可能性のあるsoftをお記載下さい。)

ソフト名	バージョン	補 足
Microsoft Office	2402	

[6] PDQチェックの適応 (PDQチェックの運用有無を選択下さい。使用するPDQツールが決まっていれば、併せて記載下さい。)

適応状況	○ 適応無し ● 独自仕様で運用 (変更なし) 独自仕様で運用 (変更あり)	補 足	
必要PDQツール			

★★★ 調査へのご協力、有難うございました。 ★★★

適用しているPDQ項目としきい値

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目	しきい値
曲線	3.2.1.1.	セグメント間の隙間	G-CU-LG			
	3.2.1.2.	セグメント間の折れ	G-CU-NT	●		
	3.2.1.3.	セグメント間の曲率不連続	G-CU-NS			
	3.2.1.4.	微小曲線/セグメント	G-CU-TI	●		
	3.2.1.5.	近接した曲線/ノット	G-CU-IK			
	3.2.1.6.	曲線の自己干渉	G-CU-IS	●		
	3.2.1.7.	重複曲線	G-CU-EM	●		
	3.2.1.8.	曲線の最大次数	G-CU-HD			
	3.2.1.9.	直線状曲線の最大次数	G-CU-ID			
	3.2.1.10.	最大セグメント数	G-CU-FG			
	3.2.1.11.	平面曲線の波打ち	G-CU-WV			
	3.2.1.12.	曲線の微小曲率半径	G-CU-CR			
曲面	3.2.2.1.	サーフェスパッチ間の隙間	G-SU-LG			
	3.2.2.2.	サーフェスパッチ間の折れ	G-SU-NT	●		
	3.2.2.3.	サーフェスパッチ間の曲率不連続	G-SU-NS			
	3.2.2.4.	微小曲面/サーフェスパッチ	G-SU-TI	●		
	3.2.2.5.	狭い曲面/サーフェスパッチ	G-SU-NA	●		
	3.2.2.6.	相対的に狭い隣接パッチ	G-SU-RN			
	3.2.2.7.	縮退した曲面/サーフェスパッチ	G-SU-DC	●		
	3.2.2.8.	曲面の隣接辺の最小角度	G-SU-DP			
	3.2.2.9.	近接した曲面ノット	G-SU-IK			
	3.2.2.10.	曲面の自己干渉	G-SU-IS	●		
	3.2.2.11.	重複曲面	G-SU-EM	●		
	3.2.2.12.	曲面の最大次数	G-SU-HD			
	3.2.2.13.	平面状曲面の最大次数	G-SU-ID			
	3.2.2.14.	最大サーフェスパッチ数	G-SU-FG			
	3.2.2.15.	未使用サーフェスパッチ	G-SU-UN			
	3.2.2.16.	曲面のねじれ	G-SU-FO	●		
	3.2.2.17.	曲面の波打ち	G-SU-WV			
	3.2.2.18.	曲面の微小曲率半径	G-SU-CR			
	3.2.2.19.	複数フェースから使用される曲面	G-SU-MU			
エッジ	3.2.3.1.	微小エッジ	G-ED-TI	●		
	3.2.3.2.	エッジループの最大セグメント数	G-ED-FG			
	3.2.3.3.	解析表現のエッジ	G-ED-AN			
	3.2.3.4.	閉じたエッジ	G-ED-CL			
	3.2.3.5.	エッジ方向と曲線方向の不整合	G-ED-IO			
エッジ ループ	3.2.4.1.	エッジ間の隙間	G-LO-LG	●		
	3.2.4.2.	エッジループの自己干渉	G-LO-IS	●		
	3.2.4.3.	エッジ間の鋭い角度	G-LO-SA			
	3.2.4.4.	エッジループの向き	G-LO-IT			
フェース	3.2.5.1.	エッジとベース曲面の隙間	G-FA-EG	●		
	3.2.5.2.	頂点とベース曲面の隙間	G-FA-VG			
	3.2.5.3.	微小フェース	G-FA-TI	●		
	3.2.5.4.	全体的に狭いフェース	G-FA-NA	●		
	3.2.5.5.	一部狭いフェース	G-FA-RN			
	3.2.5.6.	エッジループ間の干渉	G-FA-IS			
	3.2.5.7.	重複フェース	G-FA-EM	●		
	3.2.5.8.	解析表現のフェース	G-FA-AN			
	3.2.5.9.	閉じたフェース	G-FA-CL			
	3.2.5.10.	フェース方向とベース曲面方向の不整合	G-FA-IT			
シェル	3.2.6.1.	フェース間の隙間	G-SH-LG	●		
	3.2.6.2.	フェース間の折れ	G-SH-NT			
	3.2.6.3.	フェース間の曲率不連続	G-SH-NS			
	3.2.6.4.	シェルの自己干渉	G-SH-IS			
	3.2.6.5.	フェース間の鋭い角度	G-SH-SA			
	3.2.6.6.	フェース方向とシェル方向の不整合	G-SH-IT			
	3.2.6.7.	未使用のエッジ	G-SH-FR			
	3.2.6.8.	過度な共有エッジ	G-SH-NM			
	3.2.6.9.	過度な共有頂点	G-SH-OU			
ソリッド	3.2.7.1.	微小ソリッド	G-SO-TI	●		
	3.2.7.2.	シェル間の干渉	G-SO-IS			
	3.2.7.3.	重複ソリッド	G-SO-EM			
	3.2.7.4.	複数のボリュームからなるソリッド	G-SO-MU			
	3.2.7.5.	内部空洞のあるソリッド	G-SO-VO			

会社名:UDトラックス(株)

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
4.2.1. CADモデル	4.2.1.1.	会社ルールに反するCADバージョン	O-CM-CV	●	○
	4.2.1.2.	会社ルールに反するCADスタートアップファイル	O-CM-SE	●	○
	4.2.1.3.	会社ルールに反する基本精度設定	O-CM-AP	●	○
	4.2.1.4.	ハイブリッドモデル	O-CM-HY		
	4.2.1.5.	マルチソリッドモデル	O-CM-MU		
	4.2.1.6.	CADモデル名への特殊文字の使用	O-CM-SC	●	○
	4.2.1.7.	会社ルールに反するアイテム名	O-CM-IN	●	○
	4.2.1.8.	会社ルールに反する物理ファイル名	O-CM-PN	●	○
	4.2.1.9.	会社ルールに反する物理ファイルサイズ	O-CM-FS		
	4.2.1.10.	会社ルールに反するアイテム属性の設定	O-CM-IP		○
	4.2.1.11.	アイテムデータ整合性の未確認	O-CM-IC	●	○
	4.2.1.12.	会社ルールに反するリファレンスセット	O-CM-RS		
	4.2.1.13.	密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の使用	O-CM-EE		
	4.2.1.14.	未使用密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-UP	●	
	4.2.1.15.	同一密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-IE		
	4.2.1.16.	空の密封型エンティティ (Detail/Symbol等) の存在	O-CM-EP		
	4.2.1.17.	外部アイテムの参照	O-CM-EI		○
	4.2.1.18.	不整合なアイテム間の参照	O-CM-IR		
	4.2.1.19.	会社ルールに反する簡易表現	O-CM-SP		○
	4.2.1.20.	モデリング領域外に存在する要素	O-CM-OB		○
4.2.2. グループ/レイヤ	4.2.2.1.	グループ使用の有無	O-GL-GU		
	4.2.2.2.	多数のグループ数	O-GL-NG		
	4.2.2.3.	同一要素の複数グループへの登録	O-GL-IG		
	4.2.2.4.	会社ルールに反するグループ	O-GL-IE		○
	4.2.2.5.	会社ルールに反するグループ名	O-GL-GN		○
	4.2.2.6.	レイヤ使用の有無	O-GL-LY		○
	4.2.2.7.	多数のレイヤ数	O-GL-NL		
	4.2.2.8.	会社ルールに反するレイヤ	O-GL-LU	●	○
	4.2.2.9.	会社ルールに反するインスタンスのレイヤ設定	O-GL-WL		○
	4.2.2.10.	会社ルールに反するレイヤ名	O-GL-LN		○
	4.2.2.11.	レイヤグループ使用の有無	O-GL-GL		○
	4.2.2.12.	空のレイヤグループの存在	O-GL-EL		
	4.2.2.13.	会社ルールに反するレイヤグループ	O-GL-LA	●	○
4.2.3. 座標系	4.2.3.1.	局所座標系の有無	O-CS-LS		○
	4.2.3.2.	座標系選択の不整合	O-CS-NR		○
	4.2.3.3.	会社ルールに反する座標系の向き	O-CS-NO	●	○
	4.2.3.4.	会社ルールに反する座標系名	O-CS-CN		○
	4.2.3.5.	会社ルールに反する単位系	O-CS-SU	●	○
	4.2.3.6.	会社ルールに反するスケール設定	O-CS-SS	●	○
4.2.4. アセンブリ	4.2.3.7.	トランスフォーメーションの存在	O-CS-TS		
	4.2.4.1.	アセンブリ構造の有無	O-AR-AR	●	○
4.2.5. ソリッド	4.2.4.2.	アセンブリ拘束条件の未定義	O-AR-UC		
	4.2.5.1.	モデル履歴使用の有無	O-SO-HN	●	○
	4.2.5.2.	モデル履歴のアップデートの未実施	O-SO-HU	●	○
	4.2.5.3.	モデル履歴が未定義	O-SO-MH		
4.2.6. フォーム フィーチャ	4.2.5.4.	未使用のモデル履歴の存在	O-SO-UH		○
	4.2.6.1.	未解決 (Unresolved) フォームフィーチャの使用	O-FE-UF	●	
4.2.7. 要素	4.2.6.2.	非活動 (inactive) フォームフィーチャの使用	O-FE-IF		○
	4.2.7.1.	会社ルールに反する要素名	O-EL-EN		○
	4.2.7.2.	未使用要素の存在	O-EL-UE		○
	4.2.7.3.	会社ルールに反する要素タイプ	O-EL-PE		
4.2.8. 表示	4.2.7.4.	ユーザ定義要素の使用	O-EL-UD		○
	4.2.8.1.	会社ルールに反する色設定	O-PR-CO		
	4.2.8.2.	会社ルールに反する要素色	O-PR-EC		○
	4.2.8.3.	会社ルールに反する点種	O-PR-PT		○
	4.2.8.4.	会社ルールに反する線種	O-PR-LT		○
	4.2.8.5.	会社ルールに反する線幅	O-PR-LW		
	4.2.8.6.	会社ルールに反する表示/非表示設定	O-PR-VE		○
	4.2.8.7.	会社ルールに反するシェーディング表示モード	O-PR-DM		
	4.2.8.8.	要素名の表示	O-PR-ED		○
4.2.9. スケッチ	4.2.8.9.	会社ルールに反する拡大表示	O-PR-SR		
	4.2.9.1.	多数のスケッチ要素	O-SK-WD		
	4.2.9.2.	スケッチ要素間の拘束条件の未定義	O-SK-NC		

カテゴリ	項目番号	項目名	項目ID	重要度	適用項目
ドローイング	5.2.1.1.	微小な図面要素	D-GE-TI		○
	5.2.1.2.	重複した図面要素	D-GE-EM		○
	5.2.1.3.	ISO非適合テキストの使用	D-OR-SC		○
	5.2.1.4.	不明なCAD参照元情報	D-OR-SN		○
	5.2.1.5.	外部データベース、ライブラリ参照の有無	D-OR-ER		
	5.2.1.6.	2D図の有無	D-OR-XD		○
	5.2.1.7.	2D図の未更新	D-OR-DU		○
	5.2.1.8.	2D、3D連携の有無	D-OR-DL		
	5.2.1.9.	多数の図面シート数	D-OR-ND		○
	5.2.1.10.	会社ルールに反するプロット範囲設定	D-OR-PF		
	5.2.1.11.	図面フレーム領域の未定義	D-OR-VF		○
	5.2.1.12.	ブランクビューの存在	D-OR-EV		
	5.2.1.13.	会社ルールに反するビュー名	D-OR-VN		○
	5.2.1.14.	未使用座標系の存在	D-OR-CS		
	5.2.1.15.	フェイク寸法の使用	D-OR-FD		
	5.2.1.16.	会社ルールに反する寸法表示精度	D-OR-DI		○
	5.2.1.17.	図面寸法の非連携	D-OR-AD		
	5.2.1.18.	会社ルールに反するビュー依存オブジェクト	D-OR-VD		○
	5.2.1.19.	会社ルールに反する投影方法	D-OR-VP		○

その他の項目

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

■この表は、JAMA/JAPIA PDQガイドライン V4.1の項目リストです
使用している項目の「記入欄」に次のマークを付けて下さい
同一尺度の場合は「○」、同一種類であるが尺度が異なる場合は「○」
にて記入してください。
■この表に記載されている項目以外をチェックしている場合は
「その他の項目」に記載をお願いします。